

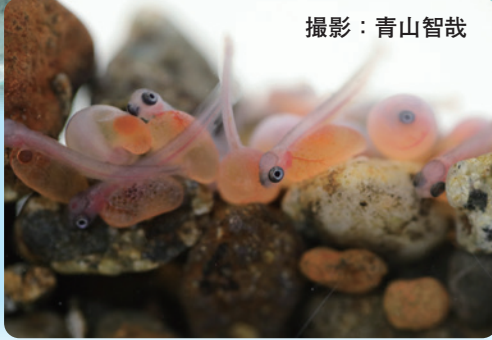
「道産サーモン」  
の未来を支える

# サーモン種苗生産事業

八雲町でのトラウトサーモン海面養殖を先行事例として、道内各地でも海面養殖試験が始まっています。この種苗需要が高まっている一方で、道内では大規模な種苗生産は行われていません。この種苗の供給量が不足している状態を解決すべく、八雲町は熊石サーモン種苗生産施設の規模拡大を目指して事業に取り組んでいきます。

漁業経営  
の安定

漁業振興  
地域の活性化



日本で唯一、太平洋と日本海の二つの海を持つまち



北海道八雲町

八雲町



## 企業版ふるさと納税

にご支援をお願いします。

## 醸造(ワイン)用ぶどう栽培事業

近年の温暖化の影響により果樹栽培に適する気候条件へと変化していく中で、八雲町は新たな事業の創出に向けて、平成30年度からワイン用ぶどうの試験栽培に取り組んでいます。令和5年度には地域おこし協力隊を採用して本格的な栽培を行っており、数年後のワイナリー開設を目指して事業に取り組んでいきます。

まちの  
ブランド力  
の向上

新たな産業  
や観光資源の  
創出



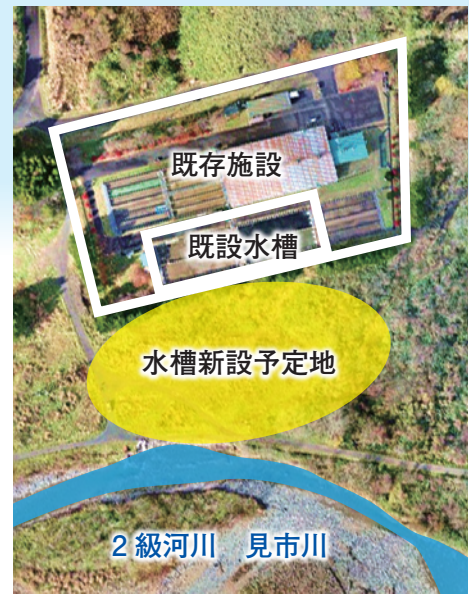
「ワイナリー開設」  
を目指して



# サーモン種苗生産事業

海面養殖に使用する幼魚(種苗)は種卵から600gほどまで淡水で成育します。本事業では、種苗生産業務と並行して、施設規模の拡大を行い、50万尾の生産規模を目指します。

	水槽容量	種苗生産量(見込)
既設	幅 8.6m×長さ 34m×水深 0.6m×4面 702m <sup>3</sup>	約 40t
新設	幅 6.0m×長さ 30m×水深 1.6m×18面 5,184m <sup>3</sup>	約 310t
合計	5,886m <sup>3</sup>	約 350t



# 醸造(ワイン)用ぶどう栽培事業

令和6年度は白ワイン用ぶどう「シャルドネ」・赤ワイン用ぶどう「ヤマソービニオン」の苗木、あわせて1,500本を定植しました。令和12年度までに畑を拡大しつつ、欧州系ぶどう品種を毎年2,000本の植樹を予定しており、数年後のワイナリー開設に向けてぶどうの生産量の拡充を目指します。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
ブドウの栽培	5haに12,000本を植樹していく予定				植樹終了
収穫量想定 (搾汁量)	1,200kg (720ℓ)	2,700kg (1,620ℓ)	4,750kg (2,850ℓ)	7,500kg (4,500ℓ)	10,500kg (6,300ℓ)



お問い合わせ・寄附のお申し込みは  
**八雲町 政策推進課**

〒049-3192  
北海道二海郡八雲町住初町138番地  
TEL: 0137-62-2300  
E-mail: seisaku@town.yakumo.lg.jp  
ホームページ: <https://www.town.yakumo.lg.jp>

日本海  
八雲町



太平洋  
(噴火湾)



八雲町WEBサイト